

計画第3期突入！ CS 本格実施へ

小中一貫・CS 通信

NO.33 R3.12.24 幕別町教育委員会 学校教育推進員

今日で2学期が終わります。コロナ対応で奮闘された各学校の皆様にご心から労いの言葉を送ります。本当にお疲れ様でした。

現在、新しい変異株オミクロン株の出現により世界中が騒然となっています。感染力や毒性等の詳細はいまだ不明ですが、感染者数が落ち着いてきている日本でも警戒が強まっています。年末年始の人の動きもあり、まだまだ予断を許さない日が続きますが、今はしっかりと休養を取り、年明け3学期に向け鋭気を養いましょう。

今月は、各学園の合同研修会等の様子を中心にお知らせします。

合同研修会開催 12/15 まくべつ学園

12月15日(水)にまくべつ学園の研修会が開かれました。幕別小学校を会場に、1年生国語、3年生算数、6年生算数の3つの授業が公開され、学園内小中学校の先生方が熱心に参観しました。どの授業も、9年間の一貫した指導が系統表としてまとめられている「話し合い活動」を位置づけた学習内容で、子ども達の生き生きとした姿が見られました。



その後、開会式を行った体育館で3か所に分かれて授業分科会を行いました。「今日の授業は、中学校の方程式につながる学習なので、このような内容の授業になりました。」など小中一貫教育課程を意識した発言があちこちで聞かれました。6年生のグラフを読み取る算数の内容が中学校社会科の資料の読み取りの力につながることを、中学校教師が具体的に説明する場面もありました。特別支援教育の小中のつながりの視点からの意見交流もあり、小中一貫の指導を強く意識する話し合いが見られました。授業の話し合いの後は、メンバーを入れ替えて児童生徒交流会が持たれました。それぞれの子ども達の様子を交流し、それぞれの指導に生かそうとする姿勢にあふれていました。



年間245時間実施している乗入授業は、子どもたちの学力を向上させただけでなく、小中の先生方の距離を縮め、共通の児童理解を進めるなど、大きな成果をあげています。まくべつ学園の到達点をはっきりと示す研修会となりました。

ICT活用授業実践交流会 12/14 糠内学園

12月14日(火)、ICT活用授業実践交流会が教育局出前講座と兼ねて糠内中学校を会場に開かれました。はじめに、大型テレビや端末などICTを活用した授業が全学年で公開されました。1年社会では、大型テレビに小学校社会の教科書を映し出し小学校で習った内容から授業を開始していました。2年数学では、デジタル教科書が常に映し出された大型テレビと各自の端末を使って学習が進められました。3年理科では、教科書のQRコードを読み取って、復習問題を解いたり月の動きと見え方を動画で確認したりしていました。



その後、実践発表が行われ、変える力部会の小野関部会長が小学校の取組について発表しました。とにかく経験して慣れようと思えることから積極的に取り組み、

裏に続きます



今では子ども達も教職員も操作に慣れ、明倫小と糠内小のオンライン交流など、様々な場面で活用していることが報告されました。

最後に、國木指導主事から、授業の講評と ICT 活用についての講話がありました。はじめに日常的な取組の成果がよくわかる授業だったことや指定校としての成果を教育局から管内に発信することが話されました。その後、ICT 活用の意義と利点、取組段階の3ステップが紹介され、すぐ誰でも活用できるステップ1から、教科の学びに迫るステップ2への移行が呼びかけられ、そのための留意点が示されました。途中、ペアで感想を言い合ったり取組を紹介し合ったりの場面もあり、和やかな雰囲気での研修となりました。

12月15日(水)、札幌市東区にある札幌東学園の合同研修会が札幌市北区内小学校を会場として開かれました。一昨年白川小学校で開催した「全道性教育研究会」以来の授業研修会であり、学園独自のものとしては初めての授業研修会になります。

合同研修会(授業参観と合同部会)開催 12/15 札幌東学園

1年生から6年生の授業とあすなろ学級個別指導の授業が公開されましたが、どの授業も子ども達の学習意欲、集中力が素晴らしく、日ごろの指導の成果がしっかり表れる授業でした。



授業後の協議では、「教材の工夫や子供たちの動きについても参考になった。」(ベテラン教師の授業を参観した若手教師)、「活発に学ぶ児童の姿が随所に見られた。」「小学校の授業の準備の丁寧さに学んだ。」(中学校教師)などの感想が出され、さらに4年生・6年生の算数の内容と中学校で扱う「関数」との関連について具体的な発言が中学校の教師からなされるなど、小中一貫カリキュラムに関する言及も見られました。

その後、学園の各部会に分かれて、今年度の振り返りと来年度に向けた話し合いが行われました。

授業公開、授業後の話し合い、部会とフルコースの実践交流会と同内容の研修会となりました。コロナ禍の中でも、しっかり取組を進める札幌東学園に拍手を送ります。

その後、学園の各部会に分かれて、今年度の振り返りと来年度に向けた話し合いが行われました。

授業公開、授業後の話し合い、部会とフルコースの実践交流会と同内容の研修会となりました。コロナ禍の中でも、しっかり取組を進める札幌東学園に拍手を送ります。

授業公開、授業後の話し合い、部会とフルコースの実践交流会と同内容の研修会となりました。コロナ禍の中でも、しっかり取組を進める札幌東学園に拍手を送ります。



中学校登校 乗入授業 11/26 12/10、17 糠内学園

糠内学園では、11月26日(金)、12月10日(金)、17日(金)の3日間にわたって、中学校登校・乗入授業が行われました。糠内小学校と明倫小学校の高学年児童8名が糠内中学校に行き、2時間ずつ中学校教師の授業を受けました。1日目は数学と社会の授業を、2日目は理科と英語の授業、3日目は国語の授業と生徒会交流、振り返りの時間を実施しました。



中学校教師の授業を受けた子どもたちからは「数学のプリントがむずかしかったけど楽しかった。」「生徒会交流では、小学校でやったことのないゲームをして楽しかった。」「来年入学するのが、前よりも楽しみになりました。」「もっと、中学生の人たちや先生たちと仲良くなりたいと思いました。」などの感想が寄せられました。参加した子ども達の表情がとてもよく大成功の取組となりました。